

楽2クラウド

クライアントサーバ

IEモード設定手順書

PFU
a Fujitsu company

© PFU Limited 2020-2021

目次

はじめに	2
1. 概要	3
1.1 IEモードとは	3
1.2 動作環境	4
1.3 注意事項	5
2. IEモードを使えるようにする	6
2.1 設定の流れ	6
2.2 楽 ² ビューアをインストールする	6
2.3 接続する楽 ² サーバのアドレスを登録する	15
2.4 Microsoft Edgeのキャッシュを削除する	20
3. IEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポートする	25
4. 困ったときには.....	29
5. 補足情報	37
5.1 クライアントプログラムのサイレントインストール (追補版)	37
5.2 他製品に含まれる楽 ² ビューアを利用するときの注意事項	38
5.3 楽 ² ビューア アンインストール時の動作	39
5.4 楽 ² ビューア アップデート時の動作	40

はじめに

本書は、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft Edge(IEモード)で使えるようにするための設定手順および留意事項について説明したものです。

【重要】

本書で説明する手順は、楽²ライブラリ クライアントサーバのサーバ（以降、「楽²サーバ」）のみを Microsoft Edge(IE モード)で使えるようにするための設定手順です。

すでに他のサイトを IE モードで利用している場合は、本書の手順ではなく、他のサイトを設定した時の手順にしたがって楽²サーバを登録してください。

また、Microsoft Edge の設定画面で楽²サーバを IE モードで利用する方法もあります。設定方法については、Microsoft Edge のヘルプ等を参照してください。

社名および商品名は各社の商標または、登録商標です。

記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

2021年11月 第2版

1. 概要

楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft EdgeのIEモードを利用して操作できるようにします。



Internet Explorerが利用できるオペレーティングシステムでは、従来通り Internet Explorer を使うこともできます。

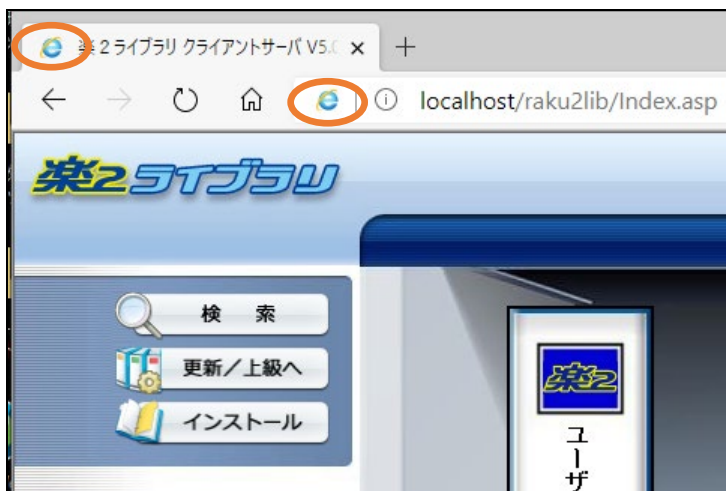
操作できるようにするには、Microsoft Edgeに対してIEモードを有効にする設定、および接続する楽²サーバのアドレスをクライアントPCに登録する必要があります。

1.1 IEモードとは

IEモードとは、Microsoft Edge(*) 上でInternet Explorerの機能をエミュレートするモードです。

(*) 一部の古い Microsoft EdgeではIEモードを利用することはできません。

IEモードが設定されたWebサイトをMicrosoft Edgeで開くと、以下のようにInternet Explorerのアイコンがブラウザ画面に表示されます。



IEモード未設定の場合や、正しく設定されていない場合には、以下のように表示され、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面でバインダが表示されません。



1.2 動作環境

IEモードの設定は、楽²ビューアをインストールするコンピュータ上で行います。

「IEモード設定ツール」は、楽²ビューアがサポートするOSで動作します。

楽²ビューアの動作環境については弊社ホームページを参照してください。



- ・マイクロソフトがサポートを終了したOSおよびバージョンは動作保証外です。
- ・最新のWindows Updateを適用してください。
- ・シンクライアントサーバでInternet Explorer 11を利用できる場合は、Microsoft Edge(IEモード)の利用はサポート対象外となります。
- ・古いMicrosoft EdgeではIEモードを利用できない場合があります。Microsoft Edgeは最新版にアップデートしてからご利用ください。
- ・Microsoft Edge(IEモード)を使用するには、Internet Explorer 11がインストールされている必要があります。
※ただし、Internet Explorerが提供されていないOS(Windows[®] 11等) は除きます。

1.3 注意事項

- 本書に記載した手順でIEモードの設定を行うと、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面専用の設定になります。
すでに他の方法でIEモードを設定している場合は、本書に記載した方法でIEモードを設定しないでください。

- Microsoft Edge(IEモード)を利用するには、Internet Explorer 11がインストールされている必要(*)があります。

Internet Explorer 11をアンインストールした環境では、本書に記載した手順で設定しても、IEモードはお使いいただけません。

※ 旧版のInternet Explorerでは動作しません。

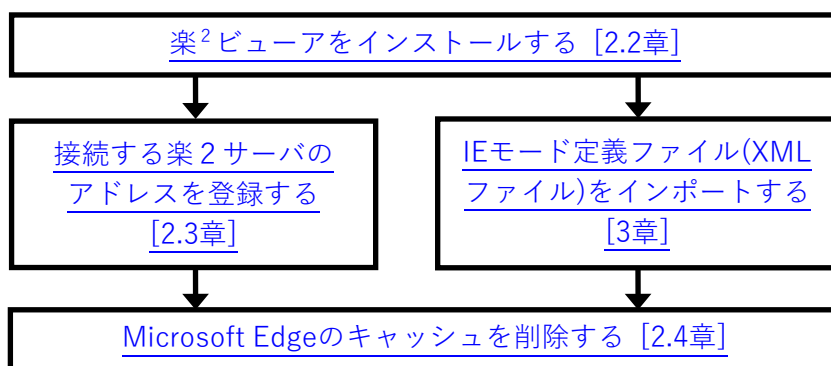
(*) Windows[®] 11など、Internet Explorer 11が提供されていないOSを除きます。

2. IEモードを使えるようにする

本章では、IEモードを利用できるようにするための手順について説明します。

2.1 設定の流れ

IEモードを利用できるようにするための手順は次の通りです。



2.2 楽²ビューアをインストールする

楽²ビューアをインストールします。旧版の楽²ビューア V5.0がインストールされているときには、旧版の楽²ビューアをアンインストールせずにアップデート(更新)できます。



Administrators権限(コンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログオンしてからアップデートしてください。



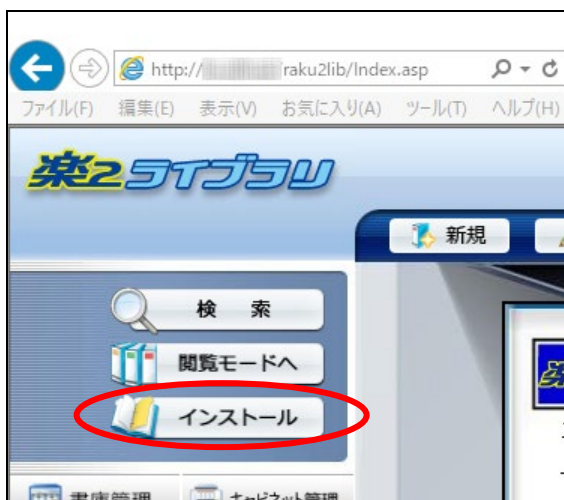
楽²ビューアをサイレントインストールすることもできます。サイレントインストールする方法については、「[5.1 クライアントプログラムのサイレントインストール \(追補版\)](#)」を参照してください。

1. Webブラウザで楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開きます。

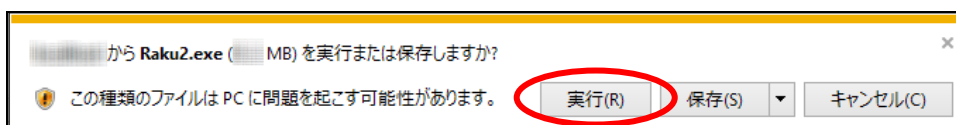


・Internet Explorer以外のWebブラウザをお使いの場合、バインダは表示されませんが、そのまま操作してください。

2. 「インストール」 ボタンをクリックして、楽²ビューアのインストーラをダウンロードします。



3. 楽²ビューアのインストーラ(Raku2.exe)の実行または保存確認画面で「実行」をクリックします。

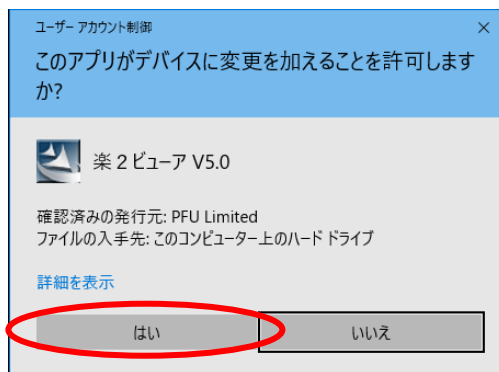




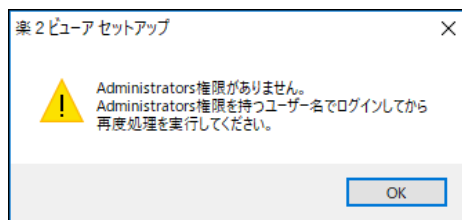
- この画面で「保存」ボタンをクリックして、楽²ビューアのインストールを保存することもできます。その場合は、保存先（デフォルトは「ダウンロード」フォルダです）にダウンロードされた“Raku2.exe”を実行してください。



- インストーラ実行時に、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は[はい]を選択してください。

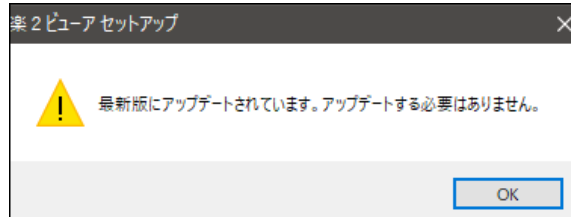


- 以下のエラーメッセージが表示された場合、Administrators権限(コンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でWindowsにログオンし直してから、再度アップデートしてください。



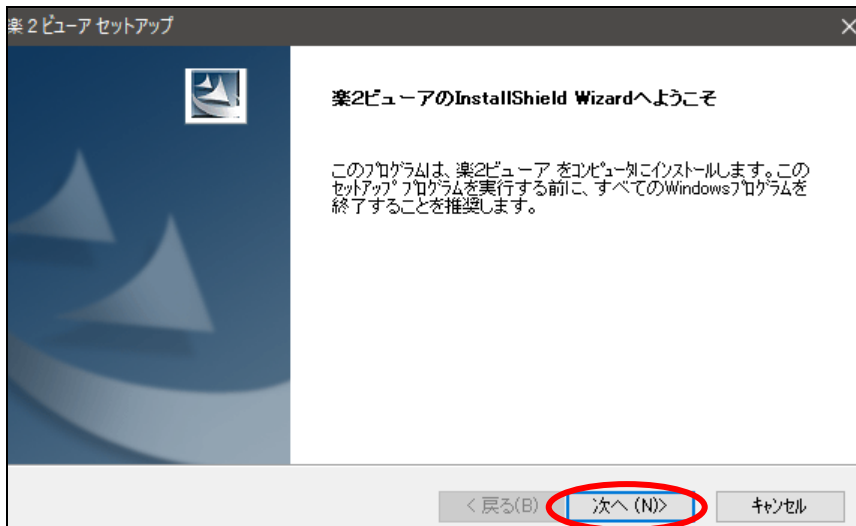


- 以下のメッセージが表示された場合、すでに最新版の楽²ビューアがインストールされています。楽²ビューアインストール時のIEモード利用設定が行われている場合は、「[2.3 接続する楽²サーバのアドレスを登録する](#)」へお進みください。

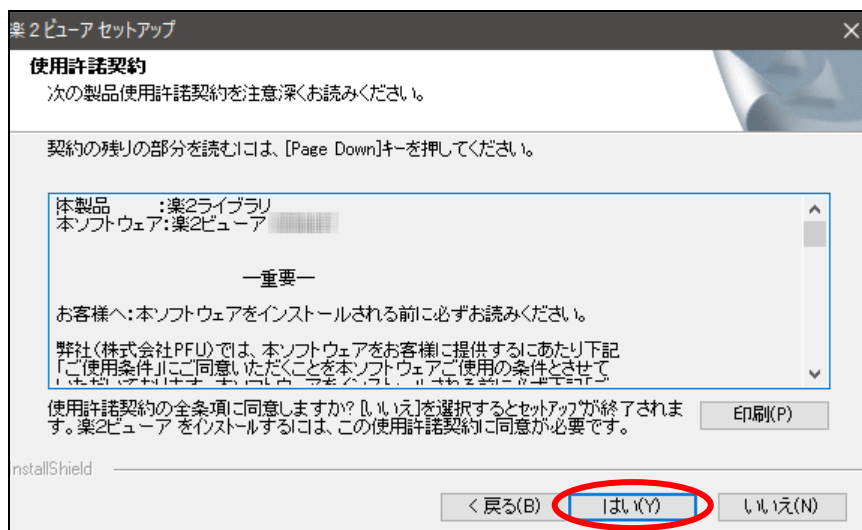


最新版のインストールまたは最新版へのアップデート時に、本手順の「[8. Microsoft Edge \(IEモード\) 利用設定画面が表示されます。](#)」でIEモード利用設定を行わなかった場合は、楽²ビューアを再インストールする必要があります。楽²ビューアをアンインストールし、コンピューターを再起動してから、再度「[2.2 楽²ビューアをインストールする](#)」の最初から行ってください。

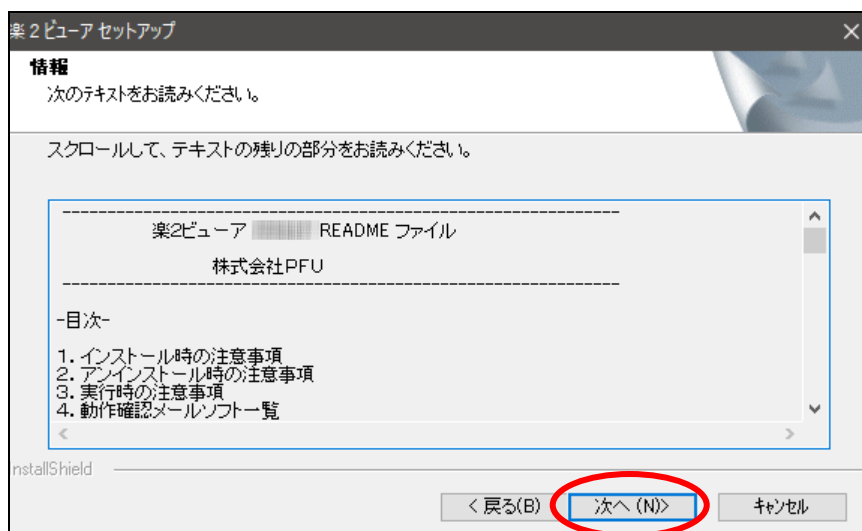
- しばらくすると、「楽²ビューアのInstallShield Wizardへようこそ」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



5. 楽²ビューアの使用許諾契約画面が表示されます。内容を最後までお読みいただき、同意する場合は[はい]を選択します。

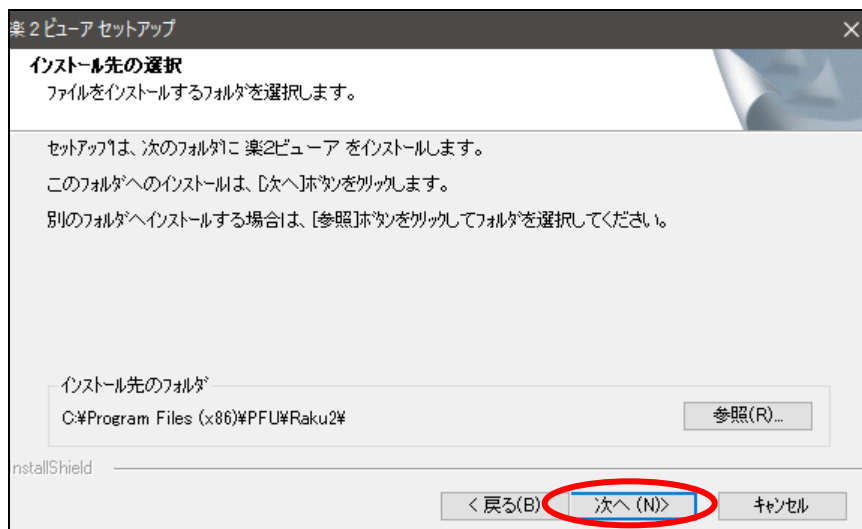


6. 楽²ビューアの情報画面が表示されます。内容を最後までお読みいただき、[次へ]を選択します。



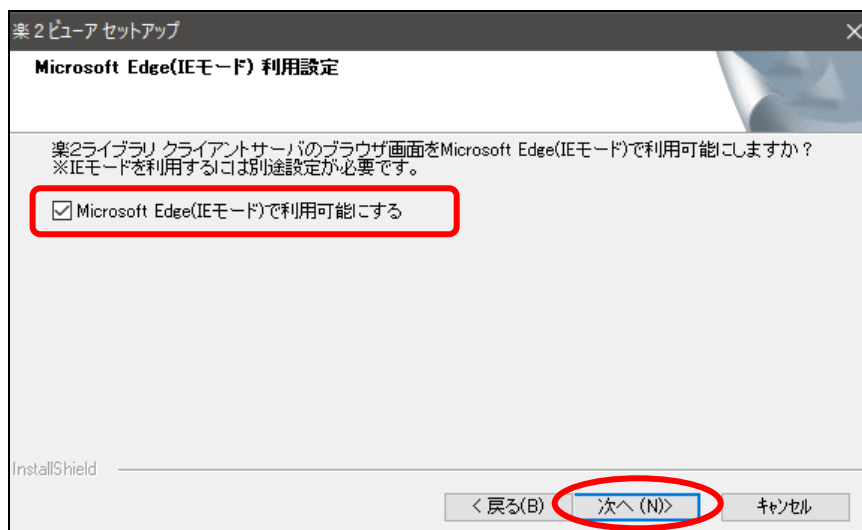
7. 【新規インストール時のみ】 楽²ビューアのインストール先を指定します。既定のフォルダ以外の場所にインストールするときには、[参照]ボタンをクリックして、インストールするフォルダを選択します。

インストールするフォルダを確認して[次へ]を選択します。



8. Microsoft Edge(IEモード) 利用設定画面が表示されます。

通常は、そのまま [次へ]を選択します。





- ・この画面では、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft Edge(IEモード)で使えるようにするための設定を行います。

Microsoft Edge(IEモード)を利用するには、楽²ビューアのインストール／更新後、「IEモード設定ツール」を使って楽²サーバを登録する必要があります。

- ・「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」の既定のチェック状態は次のようになっています。
 - － 初めて Microsoft Edge(IEモード)の設定を行う場合は、チェックが入っている状態で画面が表示されます。チェックを外すと、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft Edge(IEモード)で利用することはできません。
 - － Microsoft Edge(IEモード)が利用できるように設定されているコンピュータの場合はチェックが入っていない状態で表示されます。チェックを入れた場合の動作は、次ページの「まって！」を参照してください。

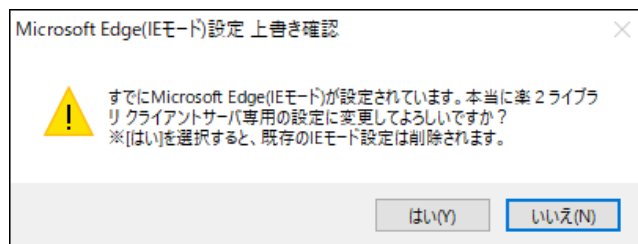


- ・この画面が表示されたときに、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」にチェックが入っていない状態になっている場合は、**通常はそのままチェックしないで[次へ]を選択してください。**

チェックを入れた場合、設定済みのIEモード利用設定は破棄され、楽²ライブラリ クライアントサーバ専用の設定に置き換えられます。

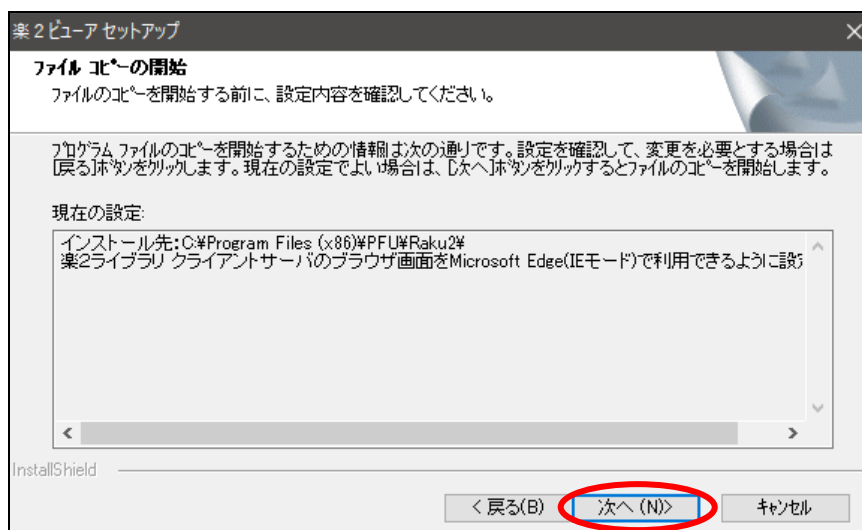
置き換えて良い場合のみ、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」にチェックを入れてから[次へ]を選択してください。

[次へ]を選択すると、設定を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。設定を上書きする場合は[はい]を選択してください。

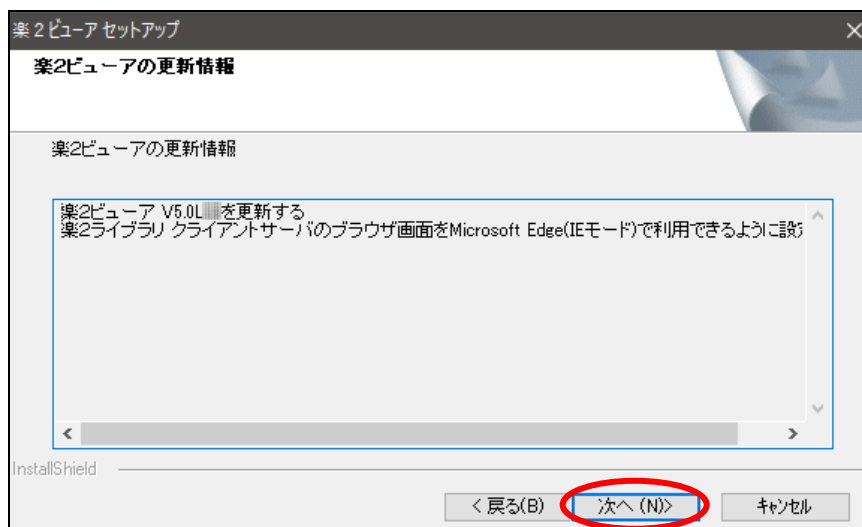


9. 【新規インストール時】「ファイル コピーの確認」画面、または【更新インストール時】「楽2ビューアの更新情報」画面が表示されます。表示内容を確認して[次へ]を選択すると、楽²ビューアがインストール/更新されます。完了までしばらくお待ちください。

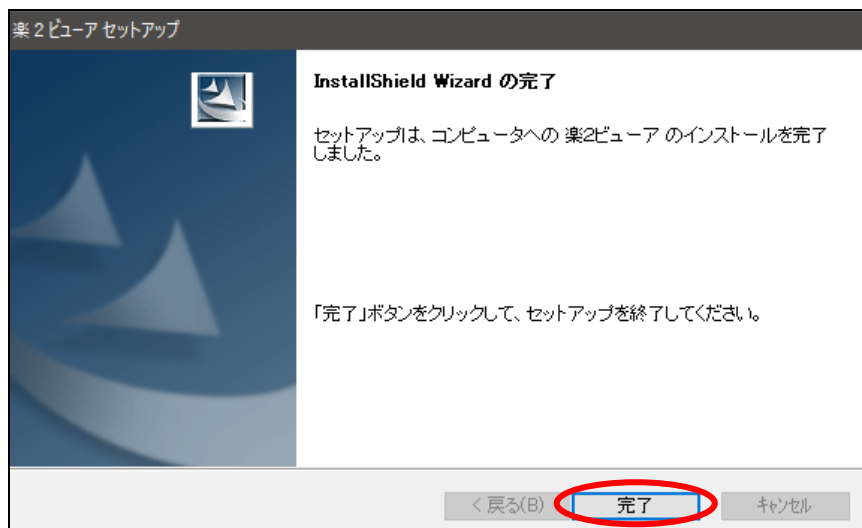
【新規インストール時】



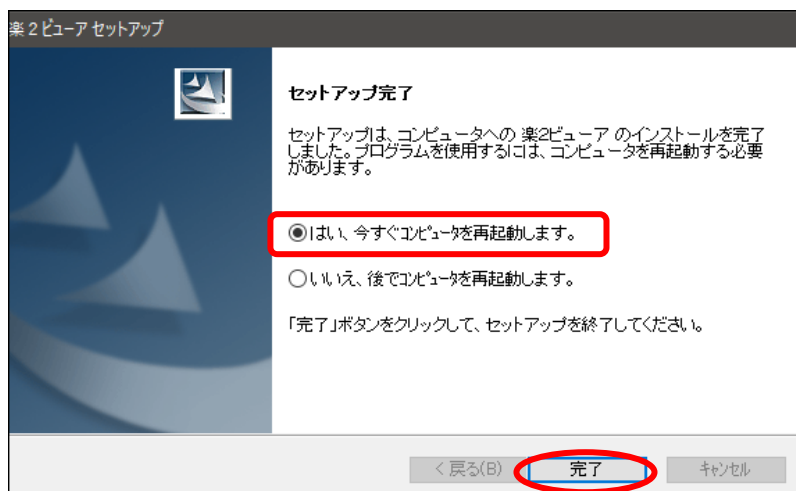
【更新インストール時】



10. セットアップ完了画面が表示されたら、楽²ビューアのインストールは完了です。



次の画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して[完了]をクリックして、コンピュータを再起動してください。



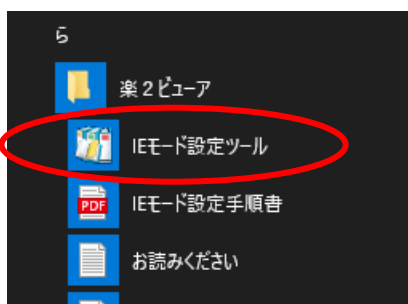
2.3 接続する楽2サーバのアドレスを登録する

楽²ビューアのインストール時、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」を指定した場合には、Microsoft Edge(IEモード)で接続する楽2サーバのアドレスをIEモード定義ファイルに登録する必要があります。

この登録には「楽2ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール」を用います。次の手順で楽2サーバのアドレスを登録します。

1. 「IEモード設定ツール」を起動します。

スタートメニューの「楽2ビューア」にある「IEモード設定ツール」を選択します。



- ・スタートメニューの表示方法はオペレーティングシステム(OS)により異なります。
- ・「IEモード設定ツール」は楽²ビューアをインストールしたフォルダの「IEModeSet」フォルダにある「IEModeSet.exe」を実行することでも起動できます。

2. 「IEモード設定ツール」が起動し、次の画面が表示されます。

楽2ライブラリクライアントサーバIEモード設定ツール

Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定するか、インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。

楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。)

サーバ名1:

サーバ名2:

サーバ名3:

【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など

※ 「http://」や「/raku2lib」などは不要です。
※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。

インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。

参照...

設定を保存します 設定を保存せずに終了します



- ・ 前回本ツールを使って設定している場合は、前回指定した値が表示されます。

3. 接続するサーバ名を「サーバ名1」「サーバ名2」「サーバ名3」の入力欄に指定します。

楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているアドレスのうち、**サーバ名部分のみ**を指定します。

楽2ライブラリクライアントサーバIEモード設定ツール

Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定するか、インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。

楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。)

サーバ名1: server.jp

サーバ名2: 192.168.1.2

サーバ名3:

【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など

※ 「http://」や「/raku2lib」などは不要です。

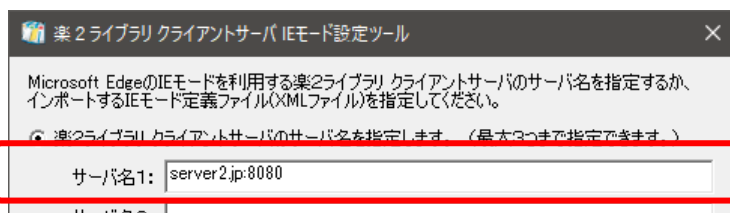
- (例1) 楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているアドレスが「**http://server.jp/raku2lib**」の場合：
⇒ **server.jp** を記入します。

(例2) 楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているアドレスが「<http://192.168.1.2/raku2lib>」の場合：

⇒ **192.168.1.2** を記入します。



- ・「サーバ名1」「サーバ名2」「サーバ名3」のどの項目に指定してもかまいません。
- ・楽²サーバにアクセスするポート番号が既定のHTTPポート(80)以外の場合は、下記のように、サーバ名の後に「:<ポート番号>」を付けて指定してください。



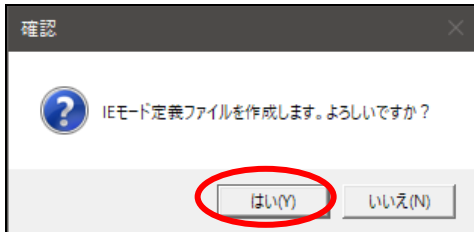
- ・サーバ名には、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定するすべての方法を指定してください。例えば、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているアドレスに「<http://server.jp/raku2lib>」と「<http://192.168.1.2/raku2lib>」の2つを使っている場合は、「**server.jp**」と「**192.168.1.2**」の両方を指定する必要があります。
- ・新規にサーバ名を登録する場合は、サーバ名は1つ以上記入する必要があります。
- ・前回「IEモード設定ツール」でサーバ名を登録したときには、登録されているサーバ名を変更することができます。その場合、すべてのサーバ名を削除すると、設定済みのサーバ情報が削除されます。
- ・記入したサーバ名が正しいかどうかはチェックしませんので、正しいサーバ名を記入しているかどうか確認してください。なお、同じサーバ名を複数記入しても、そのまま登録されます。
- ・登録を中止したいときには[設定を保存せずに終了します]ボタンをクリックしてください。(画面右上の×ボタンでも中止できます)

4. [設定を保存します] ボタンをクリックします。

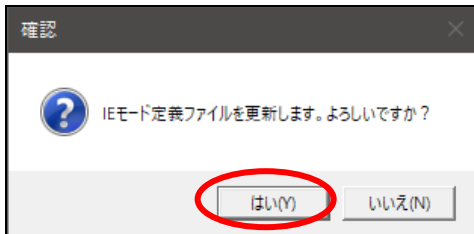
操作によって、それぞれ次の確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択するとIEモード定義ファイルを作成/更新/削除します。

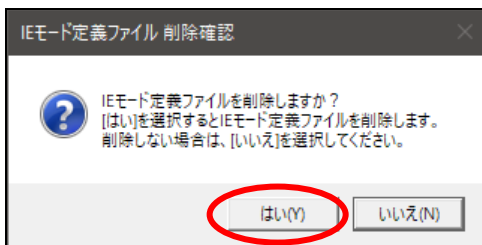
【新規にIEモード定義ファイルを作成する場合】



【IEモード定義ファイルを更新する場合】

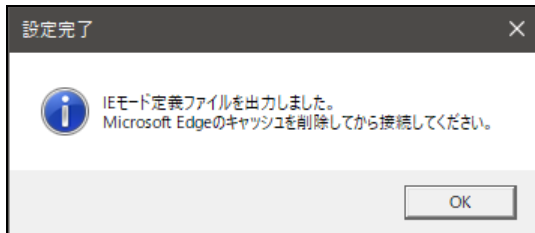


【IEモード定義ファイルを削除する場合】



5. 完了画面が表示されます。

IEモード定義ファイルが正常に作成/更新されると、完了画面が表示されます。
[OK]をクリックすると、「IEモード設定ツール」が終了します。



・IEモード定義ファイルを削除した場合は次の画面が表示されます。



・IEモード定義ファイルの作成/更新/削除ができなかったときにはエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容については、「[4. 困ったときには](#)」を参照してください。

2.4 Microsoft Edge のキャッシュを削除する

「IEモード設定ツール」で設定した内容を反映するには、Microsoft EdgeとIEモードのキャッシュをクリアする必要があります。



・ここで説明する手順は2020年8月時点のものです。Microsoft Edgeの仕様が変更される場合があります。

1. Microsoft Edgeを起動し、楽²ライブラリ以外のページを表示します。



・楽²ライブラリのページを表示した状態でキャッシュをクリアすると、表示しているページがキャッシュされるため、正常にIEモードで表示できません。

2. 表示されているページ上で、次のいずれかの方法で「閲覧データのクリア」画面を表示します。

- － キーボードの「Ctrl+Shift+DEL」キーを押す。
(CtrlキーとShiftキーを押しながらDELキーを押す)
- － Microsoft Edge画面右上の「…」ボタンをクリックし、「履歴」⇒「閲覧データをクリア」メニューを選択する。
- － Microsoft Edgeのアドレスバーに「<edge://settings/clearBrowserData>」と入力してEnterキーを押す。

3. 「閲覧データをクリア」画面で、「時間の範囲」を「すべての期間」に、「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れて、[今すぐクリア]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "閲覧データをクリア" (Clear browsing data). It has a close button (X) in the top right corner. The "時間の範囲" (Time range) dropdown menu is set to "すべての期間" (All time). Below this, there are four checkboxes with their respective labels and descriptions:

- キャッシュされた画像とファイル**
MBを解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。
- パスワード**
個のパスワード
- オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む)**
- サイトのアクセス許可**

Below the checkboxes, there is a link: [Internet Explorer モードの閲覧データをクリアする](#)

The main text reads: "この操作では、このデバイス上のデータのみがクリアされます。同期されているすべてのデバイスおよびすべての Microsoft アカウントから閲覧データをクリアするには、[同期を有効にする](#)操作を行ってください。"

At the bottom, there are two buttons: "今すぐクリア" (Clear now) and "キャンセル" (Cancel). The "今すぐクリア" button is highlighted with a red oval.

4. 再度、手順2.で説明した方法で、「閲覧データをクリア」画面を開きます。

5. 「閲覧データをクリア」画面下部にある「Internet Explorer モードの閲覧データをクリアする」をクリックします。

閲覧データをクリア

時間の範囲

すべての期間

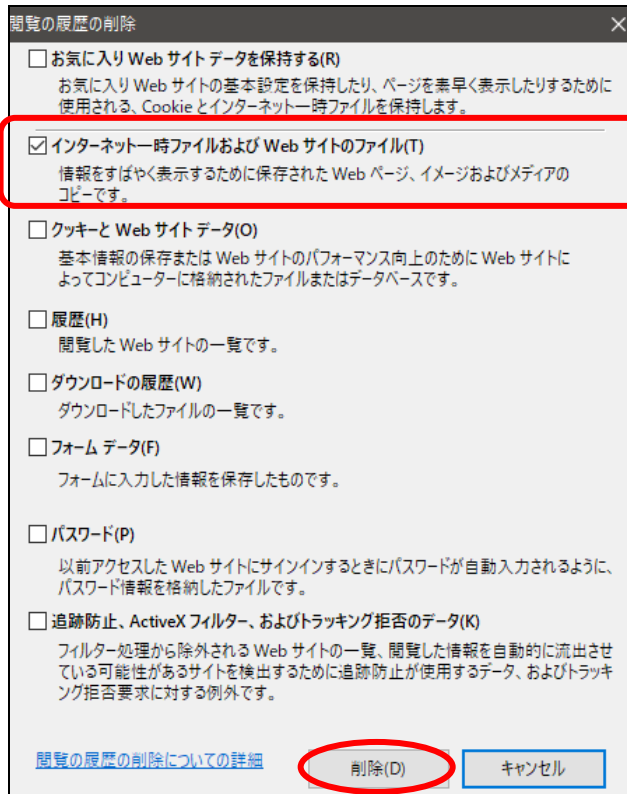
- キャッシュされた画像とファイル
MB を解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。
- パスワード
個のパスワード
- オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む)
- サイトのアクセス許可

[Internet Explorer モードの閲覧データをクリアする](#)

この操作では、このデバイス上のデータのみがクリアされます。同期されているすべてのデバイスおよびすべての Microsoft アカウントから閲覧データをクリアするには、[同期を有効にする](#)操作を行ってください。

[今すぐクリア](#) [キャンセル](#)

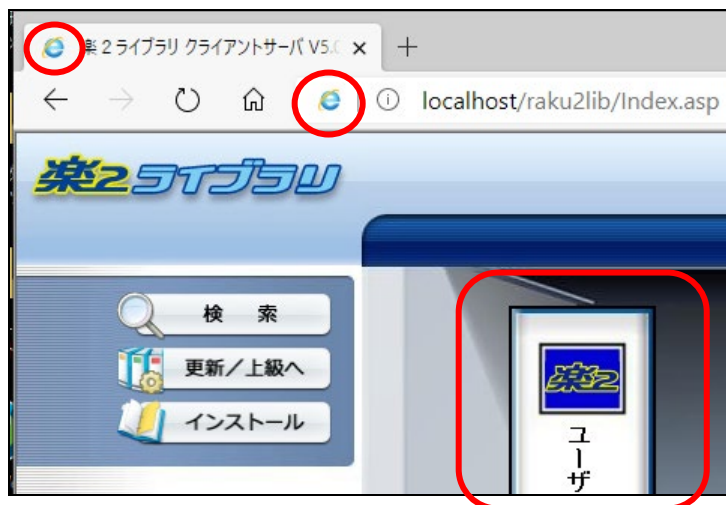
6. 「閲覧の履歴の削除」画面が表示されますので、「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」にチェックを入れて [削除] ボタンをクリックします。



7. Microsoft Edgeを閉じます。

8. Microsoft Edgeで楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開き、IEモードで表示されるかを確認します。

正常に起動されると、タブやアドレスバーにInternet Explorerのアイコンが表示され、バインダが表示されるようになります。



・楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面がIEモードにならない場合の対処方法は、「[4. 困ったときには](#)」を参照してください。

3. IEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポートする

本章では、他のコンピュータで作成したIEモード定義ファイル(XMLファイル)を、インポートする手順について説明します。

1. 他のコンピュータで作成したIEモード定義ファイル(XMLファイル)を、任意のフォルダに配置します。



・IEモード設定ツールで作成したIEモード定義ファイル(XMLファイル)は、「<楽²ビューア インストールフォルダ>%IEModeSet」フォルダに「Raku2Sites.xml」というファイル名で作成されています。

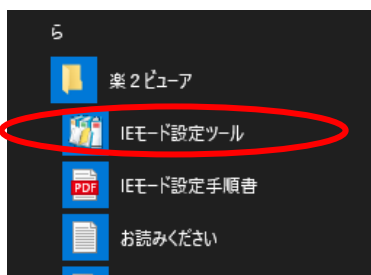
※<楽²ビューア インストールフォルダ>は、既定では以下の場所です。

64ビットOSの場合： C:%Program Files (x86)%PFU%Raku2

32ビットOSの場合： C:%Program Files%PFU%Raku2

2. 「IEモード設定ツール」を起動します。

スタートメニューの「楽²ビューア」にある「IEモード設定ツール」を選択します。



・スタートメニューの表示方法はオペレーティングシステム(OS)により異なります。

・「IEモード設定ツール」は楽²ビューアをインストールしたフォルダの「IEModeSet」フォルダにある「IEModeSet.exe」を実行することでも起動できます。

3. 「IEモード設定ツール」が起動し、次の画面が表示されます。

楽2ライブラリクライアントサーバ IEモード設定ツール

Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定するか、インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。

楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。)

サーバ名1:

サーバ名2:

サーバ名3:

【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など

※ 「http://」や「/raku2lib」などは不要です。
※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。

インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。

参照...

設定を保存します 設定を保存せずに終了します



- ・ 前回本ツールを使って設定している場合は、前回指定した値が表示されます。

4. 「インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します」を選択すると、画面が次のように変わります。入力欄にIEモード定義ファイル(XMLファイル)のフルパス名を指定します。

楽2ライブラリクライアントサーバ IEモード設定ツール

Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定するか、インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。

楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。)

サーバ名1:

サーバ名2:

サーバ名3:

【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など

※ 「http://」や「/raku2lib」などは不要です。
※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。

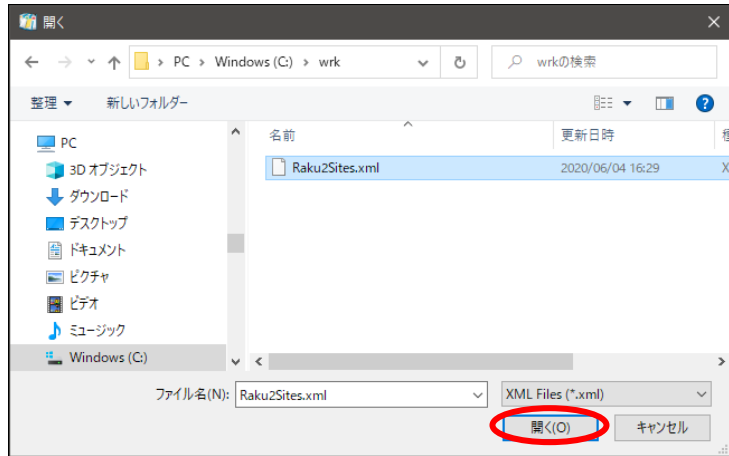
インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。

参照...

設定を保存します 設定を保存せずに終了します

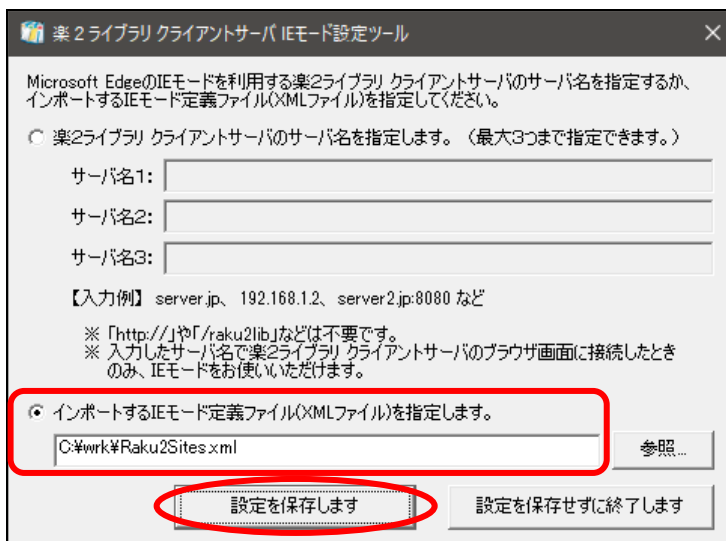


- ・ [参照...] ボタンをクリックすると、ファイルを選択することができます。



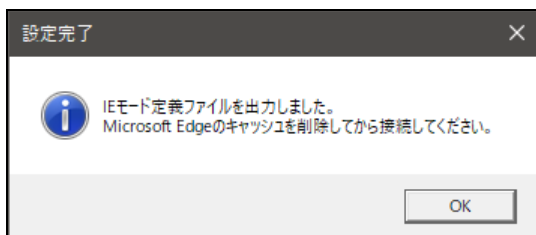
IEモード定義ファイルを選択して[開く]ボタンをクリックすると、選択したXMLファイルのフルパスが入力欄にセットされます。

5. インポートするXMLファイルが正しいことを確認し、[設定を保存します]ボタンをクリックすると、指定したXMLファイルがインポートされます。



6. インポートが完了すると完了画面が表示されます。

IEモード定義ファイルのインポートが成功すると、完了画面が表示されます。
[OK]をクリックすると、「IEモード設定ツール」が終了します。



- ・IEモード定義ファイルがインポートできなかったときにはエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容については、[「4. 困ったときには」](#)を参照してください。

7. Microsoft Edgeのキャッシュを削除します。

インポートした内容を反映するには、Microsoft EdgeとIEモードのキャッシュを削除する必要があります。

キャッシュの削除方法は、[「2.4 Microsoft Edgeのキャッシュを削除する」](#)を参照してください。

4. 困ったときには

ここでは、IEモード設定時のQ & Aについて説明します。

《現象》

楽²ビューアのインストール時に、IEモード利用設定をしないでインストールしましたが、IEモードを利用するにはどうしたらよいですか？

- ⇒ 楽²ビューアのインストール時に、Microsoft Edge(IEモード)を利用しないように指定してインストールし、あとでIEモードを利用したいときには、次のいずれかの対応を行ってください。
- 楽²ビューアをアンインストールし、コンピューターを再起動してから、再度楽²ビューアをインストールします。インストール時のIEモード利用設定画面では、必ず「Microsoft Edge(IEモード)を利用可能にする」を有効にしてください。
 - 手動でIEモードが使えるように設定します。

《現象》

楽²ビューアをインストールしましたが、スタートメニュー「楽²ビューア」に「IEモード設定ツール」ショートカットがありません。

- ⇒ インストールされている楽²ビューアが、Microsoft Edge(IEモード)に対応した楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52以降)に同梱されているものではありません。

インストールされている楽²ビューアがV5.0L47より古いバージョン・レベルの場合は、IEモードに対応した楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52以降)に同梱している楽²ビューアを更新インストールしてください。

インストールされている楽²ビューアがV5.0L47以降であるにもかかわらず、IEモード設定ツールのショートカットがない場合、他製品の楽²ビューアをお使いになっている可能性があります。

他製品の楽²ビューアがインストールされている場合は、インストールされている楽²ビューアをアンインストールし、コンピューターを再起動してから、IEモードに対応した楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52以降)に同梱している楽²ビューアをインストールしてください。

《現象》

IEモード設定ツールが起動できません。

⇒ お使いのコンピュータに「Visual Studio 2015,2017,2019用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x86)」がインストールされていません。

楽²ビューアをアンインストールしてから、再インストールしてください。

もしくは「Visual Studio 2015,2017,2019用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x86)」をマイクロソフトのサイトからダウンロードしてインストールしてください。その場合は、必ずx86版をインストールしてください。

《現象》

手順通りに設定しましたが、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面がIEモードで表示されません。

⇒ 以下を確認してください。

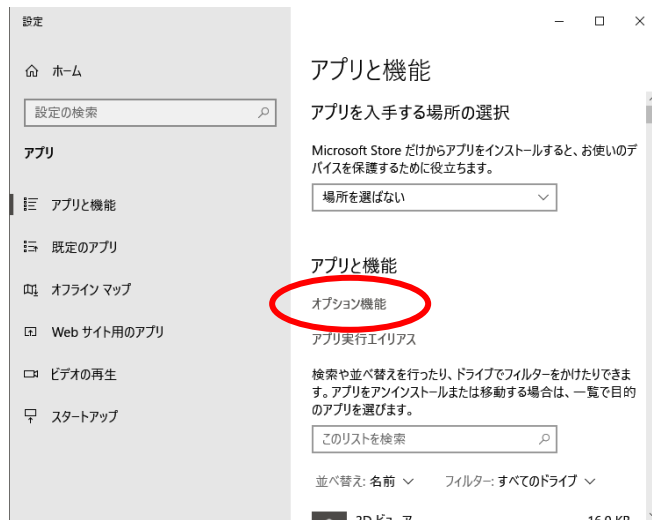
- IEモードに対応していないMicrosoft Edgeがインストールされています。最新のMicrosoft Edgeをお使いください。
- Internet Explorer 11が利用可能な環境の場合、Microsoft Edge(IEモード)を使うにはInternet Explorer 11がインストールされている必要があります。(通常、Internet Explorerはインストールされています)
以下を参考に、Internet Explorer 11のインストール状態を確認してください。

(Windows[®] 11の場合)

Windows[®] 11ではInternet Explorerは利用できません。

(Windows[®] 10の場合)

1. スタートボタンを右クリックすると表示されるメニューから「アプリと機能」を選択すると、「アプリと機能」画面が表示されますので、「オプション機能」をクリックします。



2. オプション機能画面に「Internet Explorer 11」があることを確認します。ない場合は、「機能の追加」をクリックして、「Internet Explorer 11」を追加してください。

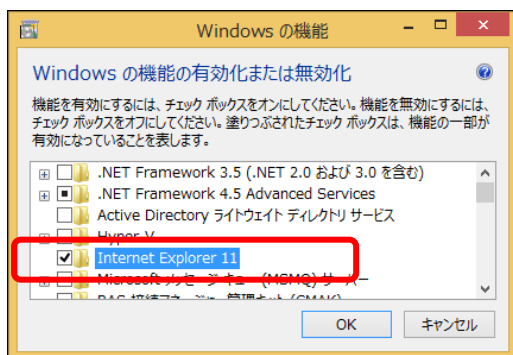


(Windows® 8.1の場合)

1. スタートボタンを右クリックすると表示されるメニューから「プログラムと機能」を選択すると、「プログラムと機能」画面が表示されますので、画面左側の「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。



2. Windows の機能画面の「Internet Explorer 11」にチェックが入っていることを確認します。チェックが入っていない場合は、チェックしてから[OK]をクリックしてください。



- Internet Explorerが古い可能性があります。Internet Explorer 11にアップデートしてください。
- 最新のWindows Updateを適用してください。
- 再度Microsoft EdgeのキャッシュとInternet Explorerモードのキャッシュをクリアしてください。
- Microsoft Edgeを再起動してください。
- コンピュータを再起動してください。
- IEモード設定ツールで指定したサーバ名が間違っている可能性があります。再度IEモード設定ツールで設定してください。
- IEモード定義ファイルをインポートした場合、インポートしたファイルが間違っている可能性があります。正しいファイルをインポートしてください。
- IEモード定義ファイルをインポートした場合、インポートしたファイルの定義内容が間違っている可能性があります。インポートしたファイルの内容を確認してから、再度インポートしてください。
- 登録した楽2サーバをインターネット エクスプローラの信頼済みサイトに登録すると表示される場合があります。弊社ホームページのFAQ「[楽2ライブラリのバインダ画面\(管理画面\)が表示されません。](#)」を参照してください。

《現象》

IEモード設定ツールでサーバ名を指定して設定を保存しようとしたら、「サーバ名 x に使用できない文字が含まれています。入力内容を確認してください」（x には 1 / 2 / 3 いずれかの数字が入ります）のエラーメッセージが表示されます。

⇒ サーバ名に指定できない文字が含まれています。

- サーバ名に「http://」や「/raku2lib」を付けていませんか。サーバ名にはこれらの指定は不要です。
- サーバ名にIEモード設定ツールで使用できない記号が含まれています。サーバ名に指定できる記号は、ピリオド(.)、ハイフン(-)、アンダースコア(_)、コロン(:)のみです。

これら以外の記号がサーバ名に含まれている場合は、IEモード設定ツールを使わず、「Enterprise Site List Manager」等でIEモード定義ファイルを作成して、以下の場所／ファイル名で保存してください。

IEモード定義ファイルは、次のファイルです。

<楽²ビューア インストールフォルダ>¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml

※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、

64ビットOSの場合： C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2

32ビットOSの場合： C:¥Program Files¥PFU¥Raku2

《現象》

IEモード設定ツールでサーバ名を指定して設定を保存しようとしたら、エラーメッセージが表示されます。

⇒ 表示されるメッセージの内容に応じて、以下の対応を行ってください。

- **サーバ名が指定されていません。入力内容を確認してください。**
 - ⇒ 新規にIEモード定義ファイルを作成する場合は、サーバ名を1つ以上指定する必要があります。
- **サーバ名 x に使用できない文字が含まれています。入力内容を確認してください。** ※ x には 1 / 2 / 3 のいずれかの数字が入ります。
 - ⇒ サーバ名に使用できない文字が含まれています。上述のQ&Aの内容を参照して、サーバ名を修正してください。
- **IEモード定義ファイルが出力できませんでした。しばらく待ってから再度保存してください。**
 - ⇒ IEモード定義ファイルに情報を出力できませんでした。一時的にIEモード定義ファイルに書き込みできなかった可能性があります。しばらく待

ってから再度保存操作を行ってください。

なお、IEモード定義ファイルは、次のファイルです。

<楽²ビューア インストールフォルダ
>¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml

※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、
64ビットOSの場合： C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2
32ビットOSの場合： C:¥Program Files¥PFU¥Raku2

- **IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんでした。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すことをおすすめします。**

⇒ IEモード定義ファイルは作成されましたが、画面に入力した情報が保存できませんでした。この状態でIEモードの利用は可能ですが、次に「IEモード設定ツール」を実行したときに前回の設定情報が正しく表示されません。

再度「IEモード設定ツール」を実行して、画面の情報をIEモード定義ファイルに合わせておくことをおすすめします。

- **IEモード定義ファイルを削除できませんでした。しばらく待ってから再度実行してください。**

⇒ IEモード定義ファイルを削除できませんでした。一時的にIEモード定義ファイルを操作できなかった可能性があります。しばらく待ってから再度削除操作を行ってください。

《現象》

IEモード設定ツールで「XMLファイルをインポートします」を指定して設定を保存しようとしたら、エラーメッセージが表示されます。

⇒ 表示されるメッセージの内容に応じて、以下の対応を行ってください。

- **インポートするXMLファイルが存在しません。存在するファイルを指定してください。**

⇒ インポートするXMLファイルが存在しません。存在するファイルを指定してください。

- **IEモード定義ファイルが出力できませんでした。しばらく待ってから再度保存してください。**

⇒ IEモード定義ファイルに情報を出力できませんでした。一時的にIEモード定義ファイルに書き込みできなかった可能性があります。しばらく待ってから再度保存操作を行ってください。

なお、IEモード定義ファイルは、次のファイルです。

<楽²ビューア インストールフォルダ>¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml

※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、
64ビットOSの場合： C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2
32ビットOSの場合： C:¥Program Files¥PFU¥Raku2

- IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんでした。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すことをおすすめします。

⇒ IEモード定義ファイルは作成されましたが、画面に入力した情報が保存できませんでした。この状態でIEモードの利用は可能ですが、次に「IEモード設定ツール」を実行したときに前回の設定情報が正しく表示されません。

再度「IEモード設定ツール」を実行して、画面の情報をIEモード定義ファイルに合わせておくことをおすすめします。

《現象》

他のWebサイトをIEモードで利用できるように設定しています。楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面もIEモードで使えるようにしたいのですが、どのように設定すれば良いですか。

⇒ 本書で説明している手順以外の方法でIEモードを設定しているコンピュータに楽²ライブラリ クライアントサーバのサイトを追加したいときには、本書の手順ではなく、手動で登録してください。

《現象》

「IEモード設定ツール」を使って、IEモード定義ファイルを作成(更新)しましたが、次にツールを起動したときに、前回の入力値が表示されません。

⇒ 「IEモード設定ツール」を起動したときに、前回の入力情報が読み込めませんでした。

一度「IEモード設定ツール」を終了して、しばらく待ってから起動し直してください。

もしくは、新たにサーバ名またはインポートするXMLファイルを指定し直してください。

《現象》

「IEモード設定ツール」を使って、IEモード定義ファイルを作成(更新)しましたが、次にツールを起動したときに、前回の設定と違う情報が表示されます。

⇒ 前回「IEモード設定ツール」で設定を保存したときに、以下のメッセージが表示されましたが、設定し直さなかった場合に、前回の設定とは異なる情報が表示されることがあります。

IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんでした。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すことをおすすめします。

表示されている内容を修正して、設定を保存してください。

5. 補足情報

本章では、IEモード関連の補足情報について説明します。

5.1 クライアントプログラムのサイレントインストール（追補版）

ここでは、クライアントプログラムのサイレントインストール/アップデート/アンインストールの補足情報について説明します。



ヒント

サイレントインストールについては「セットアップガイド(管理者編)」の第4章「クライアントプログラムのサイレントインストール」も参照してください。

楽2サーバにインストールされているサイレントインストール用定義ファイル(*)は、既定ではIEモードの利用設定は行わないようになっています。

(*) <楽2サーバのインストールフォルダ>¥Download フォルダにある以下のファイル

Setup_Install.iss : 新規インストール用定義ファイル
Setup_Update.iss : アップデートインストール用定義ファイル
Setup_Uninstall.iss : アンインストール用定義ファイル

<楽2サーバのインストールフォルダ>の既定の場所は以下の通りです。

(64ビットOSの場合) C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2ENT

(32ビットOSの場合) C:¥Program Files¥PFU¥Raku2ENT

新規インストール/アップデートインストール時に、IEモード利用設定を行いたいときには、定義ファイルの変更が必要です。

Setup_Install.iss または Setup_Update.iss をメモ帳などのテキストエディタで開き、次の行を修正します。

Sel-0=0 の行
⇒ Sel-0=1 に修正



・本書の手順以外の方法でIEモードが設定されたコンピュータに、IEモード利用設定を行う設定にしてインストール/アップデートすると、IEモードの設定が楽²ライブラリ クライアントサーバ専用書き替えられます。

5.2 他製品に含まれる楽²ビューアを利用するときの注意事項

ここでは、他製品に含まれる楽²ビューアを利用するときの注意事項について説明します。



・利用できる楽²ビューアのバージョン・レベルは、楽²ライブラリ クライアントサーバのバージョン・レベルごとに決まっています。

楽²ライブラリ クライアントサーバで利用可能な、他製品に含まれる楽²ビューアを利用する場合、本書で説明した手順では Microsoft Edge(IEモード)の利用設定を行うことができません。

そのような環境でMicrosoft EdgeのIEモードを利用したいときには、手動でIEモード設定を行うか、インストールされている楽²ビューアをアンインストールし、楽²ライブラリ クライアントサーバに同梱している楽²ビューアをインストールしてください。



- ・ 楽²ライブラリ クライアントサーバ V5.0L52以降に同梱している楽²ビューアがインストールされているPCに、他製品の楽²ビューア(V5.0L48以降)を更新インストールした場合は、楽²ライブラリ クライアントサーバのIEモード設定はそのまま残ります。また「IEモード設定ツール」を利用することもできます。
-
-

5.3 楽²ビューア アンインストール時の動作

IEモード利用設定を行った楽²ビューアをアンインストールした場合の設定情報について説明します。

- IEモード利用設定を本書で説明した手順で新規に設定した場合
⇒ 楽²ビューアをアンインストールすると、IEモード利用設定は削除されます。
- すでにIEモードが設定されている環境に、本書で説明した手順でIEモードを設定し直した場合
⇒ 楽²ビューアをアンインストールしても、IEモード利用設定は解除されません。
- すでにIEモードが設定されている環境に、本書で説明した手順以外の方法で楽²ライブラリ クライアントサーバ ブラウザ画面のサイトを追加した場合
⇒ 楽²ビューアをアンインストールしても、IEモード利用設定は解除されません。

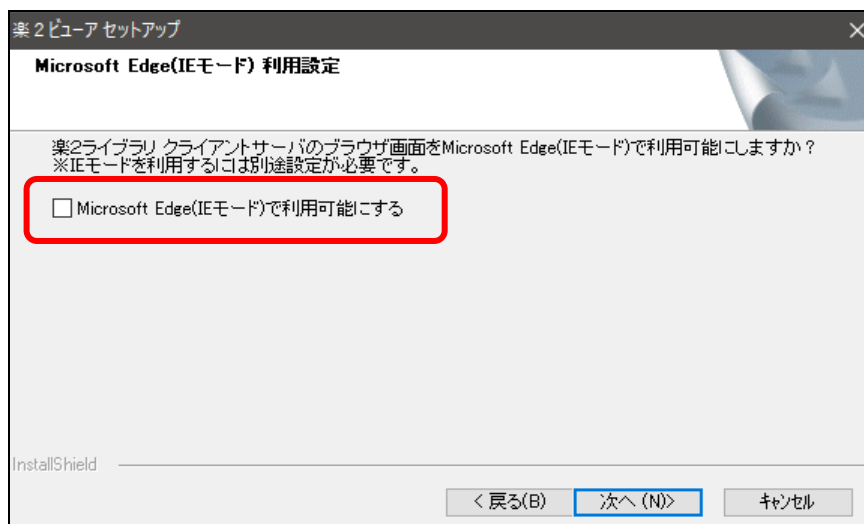


- ・ いずれの場合も、作成済みのIEモード定義ファイルは、楽²ビューアをアンインストールしても削除されません。
-
-

5.4 楽²ビューア アップデート時の動作

ここでは、楽²ビューアをアップデートインストールするときの動作について説明します。

IEモードが利用可能な状態になっている場合には、本書で説明した手順で設定している／手動で設定しているにかかわらず、楽²ビューアのインストール画面「Microsoft Edge(IEモード) 利用設定」では、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」のチェックは既定で**OFF**の状態になっています。



すでに、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をIEモードで利用している場合には、この画面では「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」にチェックを入れずに、[次へ]を選択してください。

設定済みのIEモード利用設定をそのまま利用することができます。



- ・この画面で「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」にチェックを入れてアップデートした場合、他の方法でIEモード利用設定を行っていると、その設定が楽²ライブラリ クライアントサーバ専用置き換えられてしまうため、これまでIEモードで利用できていたサイトが利用できなくなる場合があります。

楽²ライブラリ クライアントサーバ

IEモード設定手引書

第2版

発行日 2021 年 11 月

発行責任 株式会社PFU

Printed in JAPAN

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。